

# オーディオ界の巨匠が完全開発! 新次元サウンド到来!

派手なだけで見かけ倒しのスクーターオーディオとはレベルが違う?! 車種別専用設計のスピーカーボックスを開発したのはカー&スクーターオーディオ界の有名ショップだった!



## PLOT フォルツァ

PLOT ☎0566-36-0456  
http://www.plotonline.com/

### 車種別専用設計は音質のレベルが違う!

従来のバイク用オーディオの音質とは比較にならないほどのサウンドをテーマに開発されたのがこのフォルツァ。そのでプロトが開発を依頼したのが、カーオーディオやスクーターオーディオカスタムで有名な名古屋に拠点を置く“ホット・ワイヤード”。車種別専用スピーカーボックスはクルマのオーディオなんて比較

にないほどのサウンドになるだそう。発売は5月中旬にフォルツァ用を皮切りに、マジスティ、スカイウェイブ、マグザム用と随時発売していく予定。価格はダッシュボードスピーカーボックスとステップボードスピーカーボックスが3万6750円、ウーハーボックスが4万円を予定している。



ハンドルポストにはナビゲーション、ハンドルにはiPodが搭載されている。どちらのステーもワンオフで制作している。フロントボックス内にはアルパイン製1 DINユニットを収納。



注目のkickボードスピーカーマウントキットももちろんフォルツァ専用。しかもスピーカーの裏から発生する音が戻らない工夫がなされている。まさに究極の音質を追求しているのだ。

シート下には20センチのウーハーが専用のウーハーボックスで搭載されている。迫力の重低音はもはやオーディオチューニングされた車と肩を並べるレベルに達しているとか。



ダッシュボードにはフォルツァ専用の10センチスピーカーマウントキットが使われている。もちろんフォルツァ専用で高品質なサウンドを奏でるよう設計されている。



## 6th. カスタム



“ホット・ワイヤード”  
三輪洋輝氏

車やスクーターのサウンドカスタム界では一目置かれる存在。



“ホット・ワイヤード”  
☎052-262-8831  
http://hotwired.fc2web.com/frame.html



プロトから新しい外装キットが発売される。特にフロントローライドパネルはソフトな曲面とシャープなフォルムを見事にマッチさせている。

- PLOTフロントローライドパネル 予価2万4150円
- PLOTサイドカウル 予価3万6750円
- PLOTリアスポイラー 予価3万1500円
- PLOTリアリップスポイラー 予価1万5750円 etc

**ワンオフで君だけのサウンドマシンを制作!**  
ホット・ワイヤードの音質のこだわりはこの業界でも群を抜いている。それだけに妥協などという事は一切せず、車体外装を完全にばらし、防振や静振加工を完璧に施してから車体に合った音質造りをしていく。それだけにほとんどのパーツがワンオフとなるが、お客様のイメージに沿ったものを造り上げ、度肝を抜くサウンドを実現してくれる。  
今回プロトがこのショップに開発を依頼したのはハンドルまわり、ステップボード、ウーハー用のスピーカーボックスだ。もちろん車種別専用設計なのでハイオリティなサウンドは保証するぞ!



# 遊ぶ、聴く、見る、



## 斬新かつ扱いやすく オーディオカスタム最前線

車内のカスタムを考えた場合、オーディオチューンという選択は無視できないところだろう。デザインに特化したモノ、音質にこだわったモノ、様々なカスタムが点在する中で、その両者プラス実用性も加味したカスタムが誕生した。

オーディオのカスタムは  
実用性重視に変わる？

カスタムの神髄は、楽しめること、そしてクリエイティブであることである。また、ベースがクルマであることから、実用性も確保する必要がある。ドレスアップばかりに目を向け過ぎてまともに使えなかったり、逆に実用性がかり気にして地味過ぎても不味いのだ。

ここで紹介する「HOT WIRED」のハマーH2は、シヨーカー的要素と実用性を非常に高いレベルで融合させている。それは「純正の雰囲気壊さない」というコンセプトを置いていることから感じとれる。

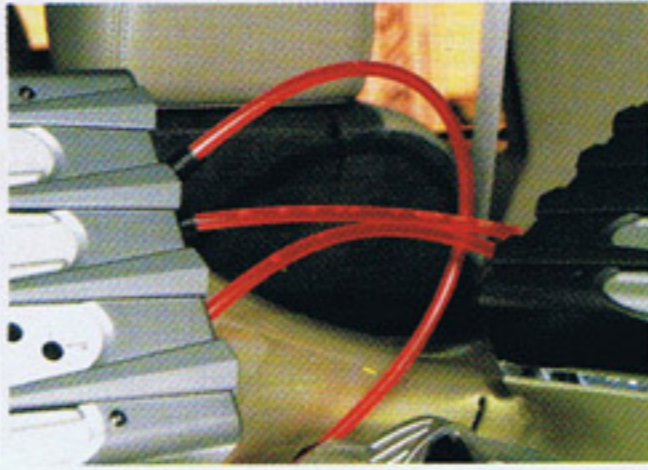
サウンドは5・1ch、DVDシアターシステムを基本にし、ヘッドユニット、プロセッサー、チェンジャーはアルパインのラインナップ。フロントスピーカー、センタースピーカー、サラウンドスピーカー、サブウーハー、センターウーハー、パワーアンプにはキッカーを採用している。また、ドアはもちろん、フロアやルーフなど、すべて制振処理が施されている。実際に車内に入ると音を体感してみると、身体の奥までサウンドが響いてくるようだ。

モニターはヘッドレスト、フロントセンターモニター、バイザー、リップダウンに計7機搭載。これまでのシヨーカーと違うところは「見えないところにモニターを配置しない」ということ。あくまでも乗員重視でモニターが配置されている。さらに目を引くのは、バックギアにシフトを入れると、リアゲートに装着された小型カメラの映像に切り替えられ、バックする時の視認性を高め





1.SUVらしさの表れか、テールレンズカーバーを装着。しかし近いうちに外してしまうのだとか。2.シンプルなエクステリアにおいて、装着されているガスキャップ。意外と多いイタズラ予防にも一役買っている。3.ホイールは今のところノーマルのままである。どこかスポンサーとして提供してくれるショップ募集中だとか。4.リアハッチ上部に装着された小型カメラはバック時の視界の確保に加え、ハッチキャリアに積まれた荷物の盗難防止に役立っている。5.リア同様、フロントグリルに装着された小型カメラ。狭い路地の交差点では広い視界を確保し、出会い頭の事故を防止する。6.アンプの熱を下げる冷却水。ドレスアップの効果もアリ。7.アンプを冷やす冷却水を循環させるスイッチ。8.FRPで作られたウーハーボックスやアンブラックは軽量かつ強固である。

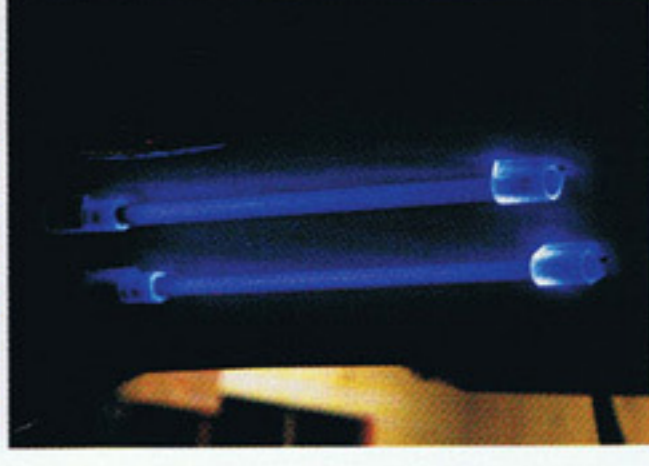


	1	2	3	4
		5	6	7
				8



	1			
	2	3	4	
	5		6	7

1.ヘッドユニットの操作は指一つでDVD、CDなどの切り替えが可能。音質にこだわりを持っている人は、自分好みの音質を保存できるプログラム機能も持っているぞ。2.ルーフにあるスイッチでナビ、DVD、フロントカメラの映像切り替えができる。3.ドアはもちろん、ルーフなどに制振処理が施されているため、大音量時でも妙な音割れや嫌な振動を感じることはない。4.各所に散りばめられたスピーカーは、デザイン性の高いモノとなっている。5.基本的に純正の雰囲気を変えないようにしているためか、インパネ周りにはほとんどノーマルを維持している。6.ヘッドレスト、バイザー、フリップダウンモニターは合計7機搭載している。乗員が見ることができない位置には配置しないのが特徴だ。7.ブラックライト一つで、車内の雰囲気はだいぶ違ってくる。



## Special Thanks

# HOT WIRED

住所：愛知県名古屋市中区千代田5丁目12-21  
 TEL：052-262-8831  
 FAX：052-262-8832  
 WEB：www.hotwired.ne.nu

ていること。また、任意でいつでも映像の切り替えができ、荷物を積むヒッチキャリアを常時監視できる。このリアに付いている小型カメラはフロントにも装着され、映像をフロントに切り替えれば、見えにくい交差点の見切りにも一役買うわけだ。リアに回ると、カーゴスペースに搭載した各ユニット類が存在感を放っている。これらのアンブラックやウーハーボックスは、強固で軽量のFRPを使用してシャンパンゴールドでペイントされている。デザインは流線型で近未来的かつクールなモノといえる。アンプを冷却するための水冷システムも搭載し、スイッチ一つで冷却水が循環する。この循環した冷却水は、専用のラジエーターで冷却される仕組みになっている。これだけの装備を支える電源は、エンジンルームのバッテリーに加え、リアバンパーの裏側に3台のバッテリーを搭載するなど万全だ。